

講演②「レジャーランドと昭和の怪物たち」

令和3年(2021)3月28日講演日

講演② 「レジャーランドと昭和の怪物たち
～奈良ドリームランド、横浜ドリームランド、船
橋ヘルスセンター」

講演：奈良女子大学教授 内田忠堅氏

高度経済成長期における「娯楽の殿堂」と「昭和の怪物」たちとして奈良ドリームランドを語る。

奈良ドリームランド「夢の国」を創りあげたのは、「昭和の興行師」として知られる実業家の松尾國三（まつおくにこうぞう）。終戦後に観光ホテルを開業したり、歌舞伎の劇場を建てて興業を取り仕切ったりして財を成した実業家です。

松尾國三が遊園地を手がけるきっかけとなったのは、昭和33（1958）年に歌舞伎の親善公演の打ち合わせでアメリカを訪れたとき、カリフォルニア州アナハイムにオープンして4年目のディズニーランドを目にして感動し、日本版ディズニーランドの開業を思い立ったといわれています。

向こう見ずながら行動力の塊のような松尾國三は、アポイントも取らずにディズニーランド創立者のウォルト・ディズニー本人に面会を求め、直談判に持ち込んでしまいます。似たような申し出を繰り返し受けていたディズニーは「応援しましょう」と軽く答えますが、正式な契約を交わしたわけではありませんでした。1か月後には、松尾國三は技術スタッフを連れて渡米し再びディズニーに会い、早々にディズニーランドの測量に取りかかったといいます。帰国した松尾國三は、奈良県からの申し出を受けて、日本版ディズニーランドを奈良市法蓮佐保山地区の黒髪山に完成させ（昭和36年（1961））、開園時は大盛況。

又、松尾國三は昭和39年（1964）横浜ドリームランドを開園



千田 稔 館長 公開 講座

図書館劇場

XV
第五幕

昭和の興行師・松尾國三
と「レジャーランド」

「奈良の夢の国 ドリームランド」(昭和36年)



Program

■映像誌 保山耕一 映像作家

■講演① 千田 稔 奈良県立図書情報館長

「『日本書紀』その後の読まれ方」その3 津山左右吉の場合」

■朗 読 都築由美 ソニー・アナウンサー

■講演② 内田 忠堅 奈良女子大学教授（文学部、大学院人間文化総合科学研究科、
奈良女子大学附属中等教育学校（中高一貫）校長

「レジャーランドと昭和の怪物たち

—奈良ドリームランド、横浜ドリームランド、船橋ヘルスセンター—」



（自撮り）

令和3年 **3/28** [月] 13:00～16:00（開場 12:00）

奈良県立図書情報館一階交流ホール 資料代 500 円 事前申込必要 定員 70 人



奈良の夢の国 ドリームランド

昭和39年(1964)10月28日

写真提供：ライトカメラ



開園時のドリームランド外観

昭和36年(1961) 写真提供：奈良市